

令和7年度第2回半田市児童館運営委員会 会議録

開催日時	令和8年2月27日（金）	10時から12時まで
開催場所	半田市役所庁議室	
会議次第	1 あいさつ 2 議題 （1）令和7年度児童館年間事業報告について〔資料1〕 （2）亀崎小学校の児童の居場所について〔資料2〕 （3）その他	
出席委員 （欠席委員）	【出席委員】 和田 さとみ、加藤 智子、石川 正喜、山本 宏巳、間瀬 さとみ（副委員長）、 中井 朋子（委員長）、徳山 香代、百田 昌弘、澤田 三弥、榊原 茂樹、榊原 一、 石川 光代 【欠席委員】 内藤 優子、荘司 京子	
事務局	子ども未来部長 間瀬 恒幸 子ども育成課 主査 石橋 烈	子ども育成課長 森本 総一郎 子ども育成課 事務員 篠田 莉帆
児童センター 館長	成岩児童センター館長 松下 真由巳 亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 半田児童センター館長 水野 恵美子 乙川児童センター館長 山本 由紀 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 青山児童センター館長 眞鍋 昭二 有 協 児 童 館 長 神戸 伸公	
次第	議 事 概 要	
	○子ども未来部長あいさつ	
議題（1） 令和7年度児童館 年間事業報告につ いて 〔資料1〕	～資料1に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～ （委員） 成岩児童センターの野菜づくりは独学ですか。 （成岩） 館長自身も趣味でやっていますが、利用児童の保護者で詳しい方もいました。 （委員） 青山児童センターの4月のPTA総会支援について、どのようなきっかけがありましたか。また、神戸おやじ会とはどのような団体ですか。 （青山） PTA総会支援については花園小学校と連携の中で総会参加中に子どもをどこかで	

	遊ばせていたいと考える保護者がいることを知り、職員に PTA 関係者がいたことも後押しし計画・実施しました。来年度も同様に実施を検討しています。 神戸おやじ会は地元の老人会由来のボランティア団体です。
議題（２） 亀崎小学校の児童の居場所について 〔資料２〕	～資料２に基づいて、事務局から説明～ （委員） （児童センター廃止・ひろば新設をふまえた亀崎地区の児童の居場所の動向について）現段階のひろばの運用方針のままでは、亀崎児童センターを無くすと子どもたちが困るかと思い、市長まで地域の意見が伝わるようにと考え、請願するという形になりました。 （委員） 施設は古くなるため、どこかのタイミングで抜根的に改修する必要がある、市の財政的に維持することに負担が生じるのだと思います。しかし今後の施設の廃止または改修する計画などについては、方向性を決める段階で話し合いの場が必要だと感じました。 （事務局） 本計画は市内の児童センターの数が現状だと小学校全てに対応していないという課題が発端でした。児童センターを廃止してひろばを新設するという計画が進んでいく中で、地域との話し合いのタイミングが遅れてしまったことは反省点と捉えています。今後、施設改修などの大きな計画を始める際には、早期段階から意見を聞き取る場をつくっていきたいと考えています。 （委員） ひろばは場所として新しくできたのはいいと思いますが、児童センターでは実施されている体験活動や、中高生交流の場、地域イベントの機会が無くなっていくのが問題だと思います。児童センターが持っていた機能がひろばのどこに移管されるのか知りたいです。その機能がどう移管されるか担保されるかが分からないと廃止して良いという判断はできません。 （事務局） 児童センターが持っていた機能については委託事業者とも共有をし、新しいひろばでどのようなやり方で実施できるか、進めていけるかなど協議をすすめています。引き続き、本運営委員会においても、放課後ひろばの状況を共有してまいります。

(委員)

新設ひろばは乙川東小学校の次はどこができるか決まっていますか。

(事務局)

現段階では回答できませんが、学校の空き教室の状況によります。学校とも連携・調整しつつ、場所が確保できるタイミングで随時計画をすすめていく方針です。

(委員)

既設の横川小学校のひろばについて、今年度運用が始まりましたが、遊んでいた児童がケガをした等がありますか。

(事務局)

大きなケガの事例は無いと認識しています。

(委員)

ひろばについて、人数による利用制限はありますか。

(事務局)

利用制限は原則として設けてはいませんが、委託事業者と状況次第で調整し、児童の安全の確保が難しいといった状況になれば安全を考慮して参加を断る可能性はあります。想定としては同時に60人遊びに来るようなことがあれば受入は厳しくなるかと思われます。

(委員)

1年生、2年生について、いったん家に帰らないと利用できないのは、不便な気がします。利用希望の子はそのままひろばを利用できるほうが良いのではないのでしょうか。

(事務局)

1年生、2年生については学校から安全に家に帰るという動きを身に付けてもらうことを目的に一斉に集団下校をするという形をとっています。

(委員長)

ひろばで遊んでいた児童はどのように帰りますか。

	(事務局) 方面別でかたまって下校します。 (委員) 説明資料には開始時間は授業終了後と記載がありますが、概ねの時間を具体的に示したほうが保護者は分かりやすいのではないのでしょうか。 (事務局) 説明資料には広くあてはまる表現として「授業終了後」と記載していますが、利用児童の保護者には別途「〇時～開設」と示したスケジュールを通知するようにします。
議題（３） その他	(委員) 児童をとりまく情報について、もう少し早くその都度情報が得られると良いと感じました。 (委員) 児童センターが減っていくと、本運営委員会も縮小していくことになるかと思いますが、市民が市の計画などに目を通す機会として今後もこのような場は必要なのだと感じます。 (委員長) 以上で議事を終了いたします。事務局へお返ししますので、よろしくお願いします。
閉会	(事務局) 長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これをもちまして、令和７年度第２回児童館運営委員会を閉会いたします。皆様からいただいた意見を今後の施策等の参考にさせていただこうと思います。各館の運営に関しまして、忌憚ないご意見をいただきたいと思います。ありがとうございました。
(終了)	